

AKB48 の MV から読み取る運営の意図*

一般社団法人アイドル工学研究所 第三調査本部 楽曲・公演研究室 / 情報本部 統計分析研究室

1. 緒言

AKB48 には選抜制度があり、メンバーの人気や運営の期待度と、選抜回数との相関性について語られることが多い。選抜回数の多いメンバーはメディアへの露出も多く人気が出るが、選抜回数の少ないメンバーは目にする機会が少なく人気が出ない、そして人気の有無がますます二極化していくというものだ。この意見はおよそ正しいだろう。しかし、選抜回数では大まかな議論しかできない。人気上位のメンバーはほぼ全てのシングルで選抜されている一方、中位は選抜回数が 1~3 回であり、下位は選抜回数が 0 回である。大きな分類はできても、それぞれの分類の中で詳細な分析をすることは難しい。

そこで、MV に映り込む頻度を近似的に運営の期待度として捉え、『桜の花びらたち』から『上からマリコ』に至るシングル A 面曲の MV において、各メンバーが映り込む頻度を調査した。これにより、ほぼ全てのシングルで選抜されているメンバーの中でも、運営がどのメンバーに特に期待をしているのか、詳細な甲乙をつけることができる。また、人気上昇あるいは下降したメンバーの MV に映り込む頻度の推移を分析する。

なお、メンバーの敬称は省略した。

2. 選抜

2.1 選抜とは

AKB48 は、大人数のアイドルグループである。全メンバーが A 面曲を歌うことはできない。そこで、「選抜」という制度が存在する。メンバーの中から A 面曲を歌うメンバーを選抜するというものである。選抜に選ばれるかどうかは、メンバーにとって何よりの関心事である。選抜から漏れるということは、A 面曲を歌えないだけでなく、歌番組への出演や雑誌への掲載も絶望的になることを意味し、アイドルと

しては何としても選抜に選ばれたい訳だ。

2.2 選抜総選挙

一般に選抜メンバーは、秋元康 AKB 総合プロデューサーを筆頭に、劇場支配人、振付師、レコード会社関係者などのスタッフ（一般に「運営」と呼ばれるので以下、運営）によって決定されている。しかし、毎回選抜されているメンバーと一度も選抜されていないメンバーに二極化している事態や、不透明な“選抜の基準”に対するファンの不信感を受け、選抜メンバーをファンによる投票で決定する「選抜総選挙」の構想が、09 年 4 月 26 日の「神公演予定」ライブにて発表される。これは、タブーとされるアイドルへの順位付けに他ならない。

この 09 年の総選挙の正式名称は『AKB48 13th シングル選抜総選挙「神様に誓ってガチです」』であり、一般に「第 1 回選抜総選挙」と呼ばれている。7 月 8 日に開票イベントが行われ、1 位から 21 位が「選抜メンバー」、22 位から 30 位がカップリング曲を歌う「アンダーガールズ」とされた。その後、10 年 6 月 9 日開票の『AKB48 17th シングル選抜総選挙「母さんに誓って、ガチです」』、11 年同日開票の『AKB48 22nd シングル選抜総選挙「今年もガチです」』と、毎年総選挙が行われており、それぞれ「第 2 回選抜総選挙」「第 3 回選抜総選挙」と呼ばれている。

2.3 じゃんけん選抜

選抜メンバーが固定化されている現状を受け止め、「選抜総選挙」という画期的な試みがなされたが、結局毎回選抜されている有名なメンバーが上位を占めるという、当たり前の結果に終わってしまった。そこで、人気に関係なく運だけで選抜メンバーを決めるイベントとして、10 年 9 月 21 日、日本武道館にて「じゃんけん大会」が開催され、選抜経験のない内田真由美が優勝。じゃんけん大会上位 16 名による 19th シングル『チャンスの順番』がリリースされ

*2012 年 10 月 10 日 アイドル工学研究所秋季シンポジウム 2012 において発表

た. 11 年 9 月 20 日には「AKB48 24th シングル選抜 じゃんけん大会」が開催され, 篠田麻里子が優勝, 同じく上位 16 名による 24th シングル『上からマリコ』がリリースされた. 一般に, 10 年開催のものは「第 1 回じゃんけん大会」, 11 年開催のものは「第 2 回じゃんけん大会」と呼ばれている.

2.4 各シングルにおける選抜回数

11 年 12 月末までにリリースされた, インディーズ 1st, 2nd シングル, およびメジャー 1st から 24th シングルにおける, メンバー別の A 面曲選抜回数を Table1 に記す. なお, SKE48 および NMB48 に所属している者でも, AKB48 のシングルに選抜されたメンバーは掲載した. 一方, 選抜回数 5 回未満の卒業生, およびじゃんけん選抜しか選抜経験のないメンバーは, 掲載しなかった. 表の枠の赤い太線が, そのメンバーがデビュー (研究生制度発足後は正規メンバーに昇格) したタイミングである. 卒業生は, 卒業したタイミングにオレンジの太線を引いた. 菊池あやかは一度解雇されて再びオーディションに合格したため, 太線が 3 本引かれている.

Table1 の選抜回数をみると, 20 回前後選抜されている人気メンバーと, 選抜回数が数回しかないメンバーに二極化している様子が読み取れる. また, 丸印の偏りから, 当初は運営に期待されていたが近年干されているメンバー, 逆に以前は期待されていたが近年開花したメンバーなどの存在が読み取れる.

2.5 各シングルにおける選抜率

Table1 のデータだけでも, いくつか読み取れることはある. しかし, 選抜回数では, AKB48 草創期から加入しているメンバーには有利だが, 近年加入したメンバーにとっては不利なデータが出てしまう. また, 卒業したメンバーについても, 同様に不利なデータとなる. そこで, AKB48 に加入, あるいは卒業したタイミングを加味し, 2011 年 12 月末現在, 各メンバーにとって選抜対象となったシングルの枚数である「選抜対象回数」を数えた. そして, 「選抜回数」を「選抜対象回数」で除することで, A 面曲の「選抜率」を算出し, Fig.1 にパレート図として示

Table1 シングル A 面曲のメンバー別選抜回数

名前	i1	i2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	選 抜 回 数
	桜の花びらたち	スカート、ひらり	会いたかった	制服が邪魔をする	軽蔑していた愛情	BINGO!	僕の太陽	夕陽を見ているか?	ロマンス、イラネ	桜の花びらたち 2008	Baby! Baby! Baby!	大声ダイヤモンド	10 年桜	涙サプライズ!	言い訳 Maybe	RIVER	桜の葉	ポニーテールとシュシュ	ヘビーローテーション	Beginner	チャンスの順番	桜の木になろう	Everyday カチューシャ	フライングゲット	風は吹いている	上からマリコ	
選抜枚数	—	7	20	14	16	18	14	10	16	20	20	20	20	20	21	16	12	16	21	16	16	16	26	21	18	16	
小嶋陽菜	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26
前田敦子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25
高橋みなみ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24
板野友美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24
峯岸みなみ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23
河西智美			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23
大島優子			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22
宮澤佐江			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22
篠田麻里子			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22
渡辺麻友						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19
小野恵令奈			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
柏木由紀						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
北原里英											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14
秋元才加			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14
松井珠理奈											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13
大島麻衣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
指原莉乃											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
宮崎美穂											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
中西里菜	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
松井玲奈											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
高城亜樹											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
佐藤由加理	○								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
倉持明日香											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
増田有華			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
菊池あやか									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
横山由依											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
平嶋夏海	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
多田愛佳											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
小林香菜			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
梅田彩佳			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
藤江れいな											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
佐藤亜美菜											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
佐藤すみれ											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
小森美果											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
佐藤夏希																											2
仲川遥香																											2
松原夏海			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
山本彩																											2
仁藤萌乃																											1
渡辺美優紀																											1

した。また、じゃんけん選抜は運営の意図やファンの人気の影響を受けないため、じゃんけん選抜を除いた選抜率も算出し、Fig.2 に示した。メンバーの選抜率はパレートの法則に従っている、あるいはそれ以上の強い格差が存在するといえる。

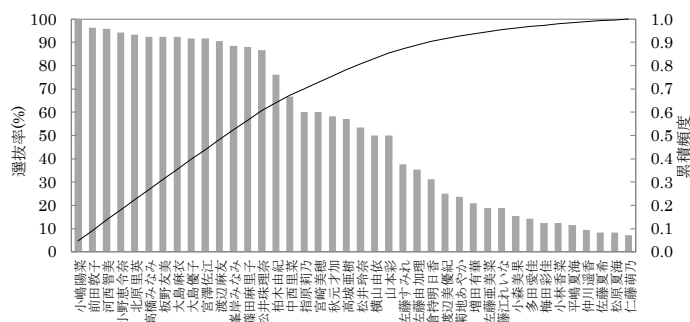


Fig.1 シングル A 面曲のメンバー別選抜率

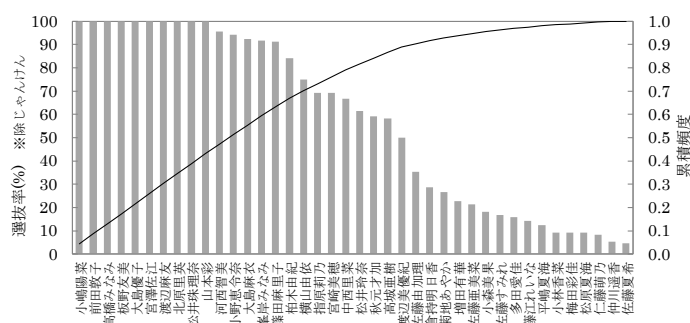


Fig.2 A 面曲のメンバー別選抜率 (除じゃんけん)

Fig.2 より、じゃんけん選抜を除くと、11 年 12 月末現在、10 名のメンバーが選抜率 100%を誇っている。10 名の内訳は、1 期生 4 名、2 期生 2 名、そして 3 期生、5 期生、SKE48、NMB48 からそれぞれ 1 名である。

また、15 名のメンバーが選抜率 90%以上を達成している一方で、選抜率が 20~90%のメンバーは 14 名しかいない。残りは選抜率 20%以下である。2.4 に記した条件に当てはまるメンバーは、Table1 のとおり 40 名であるが、この 40 名の他にも、選抜回数 1 回以上 5 回未満の卒業生が 14 名、じゃんけん選抜でしか選抜されたことのないメンバーが 13 名、正規メンバーでありながら選抜回数 0 回の者が 17 名存在し、合計すれば 84 名に上る。さらに、一度も選抜されずに卒業していった卒業生、昇格できずに卒業していった研究生、現在正規メンバーに昇格すべく努力している現役の研究生を含めれば、莫大な人数に上る。ごく少数のメンバーに人気が集中し、高い選

抜率を誇る一方で、多くのメンバーは極めて低い選抜率であり、芸能界の厳しさが如実に表れている。

一般に、選抜率の高いメンバーほど総選挙における選抜率も高い。Fig.3 には総選挙選抜率と選抜率の相関図を示した。回帰直線から離れたところに数点の例外的なプロットはある（佐藤亜美菜のほかに、第 1 回総選挙直後に卒業した佐藤由加理の総選挙選抜率が 100%であることや、選抜常連の NMB48 のエース 2 名が総選挙選抜率 0%など）ものの、相関係数は 0.8 を超えており、総選挙選抜率と選抜率との間には強い正の相関が認められる。

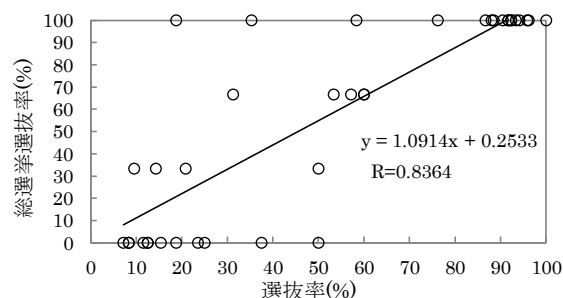


Fig.3 選抜率と総選挙選抜率の相関図

3. ミュージックビデオ

3.1 ミュージックビデオへの着目

先述のとおり、じゃんけん選抜を除けば 10 名が選抜率 100%である。例えば、前田敦子が運営から強く押され（あえて「推」ではなく「押」の字を用いた）ていることは明白だが、選抜率はその他 9 名も一律 100%である。これでは高選抜率のメンバーの中で、さらに詳細な分析を行うことが出来ない。

そこで、シングル A 面曲のミュージックビデオ(以下 MV) に着目する。MV の中でそれぞれのメンバーがどれだけ映ったかという頻度を分析し、各メンバーへの運営の期待度を調査する。そして、MV に映り込む頻度とメンバーの人気の間にどの程度の関係性があるのかを調べる。

3.2 MV の三要素

AKB48 の MV は一般的に三要素からなり、それぞれ「全体」「LIP」「ドラマ」と定義する。三要素のうちの 2 つ以上を組み合わせると MV が構成されることが大半である。

「全体」とは、選抜メンバー全員が歌いながらダ

ンスをしているシーンである。必ずしも全員が MV に映り込み続けている訳ではなく、カメラは引いて全体を映したり、アップになったりを繰り返す。

「LIP」は一般に 1 名のメンバーを別途撮影し、その映像を MV の中に差し込むものである。まれに 2～3 名のメンバーを撮影したものもある。一般的に、ダンスをせず歌っているだけであり、顔あるいは上半身のアップが多い。また、一般的に「全体」で着用していた衣装を着用している。どのメンバーを「LIP」する場合も、同じ背景を使う事が大半である。

「ドラマ」とは、一般にダンスを行わず演技を行っているシーンである。「ドラマ」では演技に合わせた衣装を着用しており、「全体」で着用した衣装を「ドラマ」でも着用することは稀である。

3.3 各シングルの MV の構成

2.4 に記載のとおり、AKB48 は 11 年 12 月末現在、計 26 枚のシングルをリリースしている。これら 26 枚のシングルにおける A 面曲の MV の概要や構成を Table2 にまとめる。LIP 回数とは MV 中の“ソロの” LIP 回数の総計であり、合算は「ドラマ」の中でメンバーが“ソロで”映った回数をこれに合算したものである。

4. LIP 回数

4.1 分析方法

AKB48 のシングル A 面曲で、構成要素に「LIP」が含まれている MV において、メンバーごとの LIP 映像が挿し込まれた回数、「LIP 回数」を計測した。

「LIP」の映像を何本挿し込むかは、MV 撮影を始めてから雰囲気を見て現場で変更されることもあるかもしれないが、一般にカット割りの時点で決定され、運営の意図が強く表れるはずである。

しかし Table2 をみると、3rd や 14th のように「LIP 回数」の総計が少ない MV が存在する。データ数が少ないと、統計分析の信頼性が低い。また、「LIP」が構成要素に含まれていない MV も存在する。そこで、「ドラマ」にも着目した。ドラマには、メンバー 1 名が映り込んだもの（以下、ドラマソロ）が存在する。この「ドラマソロ」の回数を計測し、「LIP 回数」に加算した。ストーリー性のある MV では、ス

Table2 シングル A 面曲の MV の構成

	シングル名	ドラマ	全体	LIP	LIP 回数	
					単独	合算
i1st	桜の花びらたち	○	○		—	—
i2nd	スカート、ひらり		○	○	35	35
1st	会いたかった	○	○	○	41	71
2nd	制服が邪魔をする	○	○	○	14	52
3rd	軽蔑していた愛情	○	○	○	8	23
4th	BINGO!	○	○	○	15	34
5th	僕の太陽	○	○	○	45	71
6th	夕陽を見ているか?	○	○	○	17	42
7th	ロマンス、イラネ		○		—	—
8th	桜の花びらたち 2008	○	○		—	52
9th	Baby! Baby! Baby!	○	○	○	18	45
10th	大声ダイヤモンド	○	○		—	25
11th	10 年桜	○	○	○	23	57
12th	涙サプライズ!	○	○		—	35
13th	言い訳 Maybe	○	○	○	14	40
14th	RIVER	○	○	○	11	26
15th	桜の葉	—	—	—	—	—
16th	ポニーテールとシュシュ	○	○	○	21	58
17th	ヘビーローテーション	○	○	○	40	52
18th	Beginner	○	○		—	16
19th	チャンスの順番	○	○	○	29	29
20th	桜の木になろう	○	○		—	22
21st	Everyday、カチューシャ	○	○	○	16	57
22nd	フライングゲット		○		—	—
23rd	風は吹いている		○		—	—
24th	上からマリコ	○	○	○	13	77

トーリーを中心となる人物に「ドラマソロ」が偏ってしまう。しかし、「ドラマ」の中心人物に配役されたメンバーこそ運営の期待度が高いと考えれば、「ドラマソロ」の回数は運営の意図を表す指標として妥当と言える。

以上の方法により、“それぞれの MV”において、「LIP 回数」の分布や偏りからメンバーへの運営の期待度を考察できる状態は整った。一方、各 MV を超えて横断的に“あるメンバー”に対する期待度の時間変化を追いかけるのは、「回数」という尺度では無理がある。Table2 のように、「LIP 回数」の総計が MV ごとに大きく異なるため、MV によって“1 回の重み”がずいぶん異なってしまう。

そこで、MV ごとに各メンバーの LIP 回数の偏差値を算出した。これで、「LIP 回数」の総計が異なっているとしても、MV をまたいで運営の期待度を評価することができる。正規分布から外れた「LIP 回数」の分布を示す MV が多いため、一般に偏差値と呼ばれる Z 得点では分析の信頼性が低い。そこで、T 得点も算出することとした。もちろん T 得点であっても、このような少ないデータ数では分析に無理がある。統計を扱う者としてこのような乱暴なやり方は心苦しいが、統計を専門としない一般層も読むことを考えた時、特殊な統計処理を行うよりは、分析結果の

信憑性が少し低くとも、偏差値という比較的イメージしやすい方法でデータを示したほうが良いのではないかと判断し、このような分析を行った。

4.2 LIP 回数

4.1 に記載の方法で、AKB48 のシングル A 面曲の MV におけるメンバー別の「LIP 回数」の計測を行った。その結果の一例を、バーグラフで示す。

まず、バーグラフの傾向として、左端が三角形で、中央より右は 1 回や 0 回などの低い回数が並んでいる。すなわち、選抜メンバーであっても、頻繁に MV に顔が映り込むメンバーとそうでないメンバーに二極化している実態が浮かび上がる。2.5 で AKB のメンバーであっても選抜に選ばれるメンバーは一部に集中している事を述べた。その限られた選抜メンバーの中でも、MV で顔を映してもらえらるメンバーはさらに限られるという、極めて厳しい芸能界の実態を如実に表している。

Fig.8 に着目すると、1st では、大島、宮澤、秋元、河西、小野ら 2 期生が上位に多数食い込んでいる。

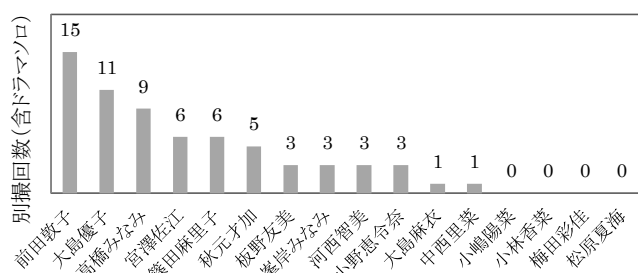


Fig.8 1stの別撮回数 (含ドラマソロ)

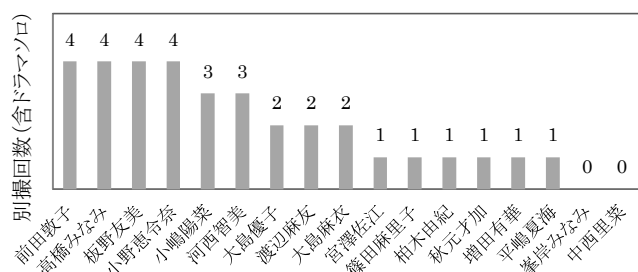


Fig.9 4thの別撮回数 (含ドラマソロ)

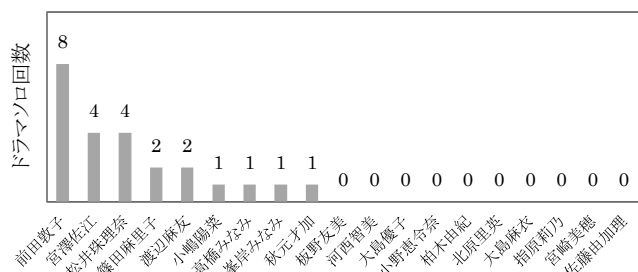


Fig.10 10thのドラマソロ回数

1st シングルは 2 期生にとってデビューシングルであり、2 期生すなわち旧チーム K をプッシュしたかったという運営の意図が見え隠れする。この傾向は、8th まで続く。

一方で、渡辺、柏木ら 3 期生にとってのデビューシングルとなる 4th では、3 期生プッシュの傾向は薄れる。さらに、北原、指原、宮崎ら華の 5 期生のデビューシングルとなる 10th では、5 期生プッシュの傾向は全く見られなくなる。1st の制作が行われた頃は、劇場を満員にすることにさえ苦労していたような、今の AKB48 からは想像もつかない牧歌的な時代である。1 期生からなる旧チーム A はまだしも、新米の旧チーム K の人気はまだ低かったため、ファンを増やしたかったのではないかと考えられる。10th リリースの頃には AKB48 も幾分人気が出ており、研究生から昇格して各チームに配属された 5 期生をプッシュする意義は小さかったと考えられる。1st は 2 期生をプッシュすることでチーム K を PR できたのに対し、10th で 5 期生をプッシュしても、各チームに散り散りになったメンバー個人よりも外側に拡がりを見せるとは考えにくい。

対照的なのは、10th での松井珠理奈の存在である。同シングルは松井珠のデビューシングルであり、SKE48 のメンバーが初めて選抜されたシングルである。当時まだ小学生ながら、デビューでいきなり不動のセンター前田敦子とのダブルセンターを張っており、松井珠が全面的にプッシュされている。松井珠はオーディション時から秋元康が注目する、SKE48 の絶対的なエースである。デビューとなる 10th シングルで前面に押し出すことで、SKE48 を PR したかったものと考えられる。

次に、選抜総選挙により選抜メンバーが決定されたシングルに着目する。Fig.11 は、13th の「LIP 回数」を選抜総選挙の順位どおりに示したグラフである。選抜総選挙の順位と「LIP 回数」の不一致が認められる。なお、17th では、およそ総選挙の順位通りに「LIP 回数」も分布している。第 3 回選抜総選挙で選抜メンバーが決定された 22nd は MV の要素に「LIP」も「ドラマ」も含まず、データが 13th と 17th の 2 つしかないため、傾向を読み取ることは難

しい。しかし、選挙で上位に入ったからといって必ずしも MV で前面に押し出してもらえとは言い切れない、という現実を示唆している。確かに運営は「選抜メンバーを総選挙で決定する」とは言ったが、MV の内容までは言及していない。ファン投票による順位付けという、アイドルとしては非常に辛い場を用意しておきながら、必ずしもその順位通りのポジションが与えられるとは限らないという、運営の非情さ、芸能界の厳しさが窺える。

もっと悲劇的なのは、じゃんけん選抜である。24th ではおおよそ順当に、第 2 回じゃんけん大会の順位通りに「LIP 回数」が分布している。驚くべき結果を示したのは、19th である。Fig.12 を参照されたい。何と、第 1 回じゃんけん大会優勝者の内田眞由美の「LIP 回数」は 1 回なのに対し、同大会 3 位の小嶋陽菜のそれは 5 回なのである。内田は AKB48 のメンバーの中では人気が低く、過去 3 回の選抜総選挙でも全て圏外である。そんな内田が優勝してしまったため、ファンの間では CD のセールスがどうなるのか心配する声が上がっていた。運営は極めて非情に、PV（あえて MV ではなく PV と呼ぶ）に 3 位の小嶋や 2 位の石田をぶつけてきた。15 位の前田敦でさえ優勝者の内田よりも「LIP 回数」が多いのだから、芸能界は冷酷である。人気メンバーの小嶋や前田敦を中心に据えた PV のほうが、プロモーションの効果は大きいに決まっている。

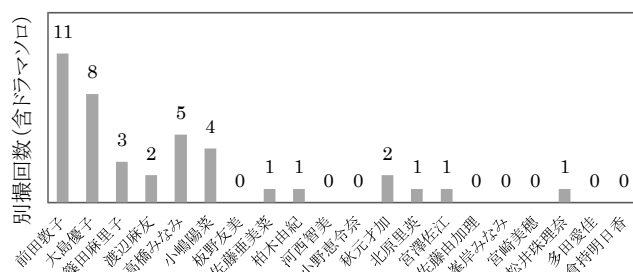


Fig.11 13th別撮回数(選挙順, 含ドラマ)

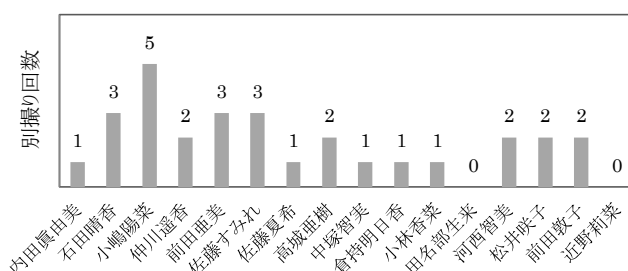


Fig.12 19th別撮回数(じゃんけん順位順)

4.3 LIP 回数偏差値の推移

4.1 に記載の方法で算出された「LIP 回数偏差値」の推移をメンバー別にまとめたグラフの一例を示す。グラフ中の数字は、選抜総選挙の順位である。偏差値の上下動を安易に運営の期待度の上昇、下降ととらえてはならない。Fig.13 の板野友美の波形が典型的なため、これをもとに考える。グラフでは、偏差値はミクロな上下動を繰り返しているものの、マクロに見れば軸は 50 強でおおよそ一定のように見える。これは、運営の期待度が変化しているというよりは、各シングルの曲調や MV のコンセプトによって偏差値が上下動していると考えのほうが自然である。

一方で、板野の例と対照的なのは、Fig.14, 15 の小野恵令奈の例である。こちらもちろん、ミクロな偏差値の上下動は見られる。しかしマクロには、4th や 5th あたりをピークにして、偏差値が明らかに右肩下がりに推移している様子が見られる。これは、運営の期待度が低下していると考えざるを得ない。河西智美や秋元才加にも、小野ほどではないも

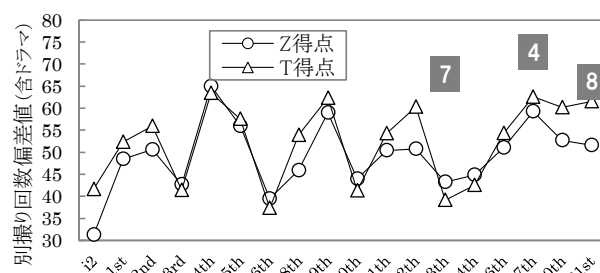


Fig.13 板野友美の偏差値(含ドラマ)

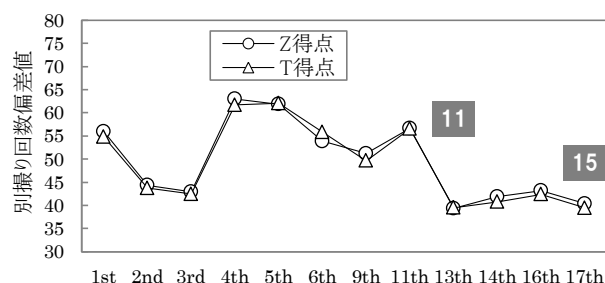


Fig.14 小野恵令奈の別撮回数偏差値

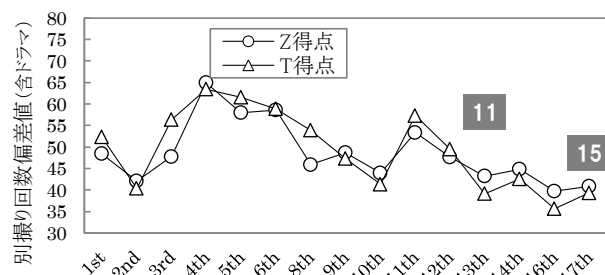


Fig.15 小野恵令奈の偏差値(含ドラマ)

のの偏差値の下降が見られ、やはり選抜総選挙の順位も下降している。なお、秋元については偏差値に併せて Table1 も参照したほうがよく、次第に選抜されなくなっている様子も見られる。一方、マクロに偏差値が低下しているにも拘らず選抜総選挙の順位が上昇している、という例は認められなかった。偏差値が下降、すなわち運営の期待度が低下した場合に限って、偏差値と選抜総選挙の順位には相関性があると考えられる。なお、あくまで相関性が認められただけであり、運営にプッシュされなくなり人気低下したのか、あるいは人気なくなってきたため運営にプッシュされなくなったのか、どちらが先かを統計的に立証することは出来ない。

近年人気急上昇したメンバーとして、Fig.16 の柏木由紀に注目する。偏差値の上昇に伴い、選抜総選挙の順位も上昇している。ただし、偏差値下降のケースと異なり、偏差値が上昇しているにもかかわらず総選挙の順位が下降している例もあった。偏差値上昇のケースでは、相関性には言及できない。

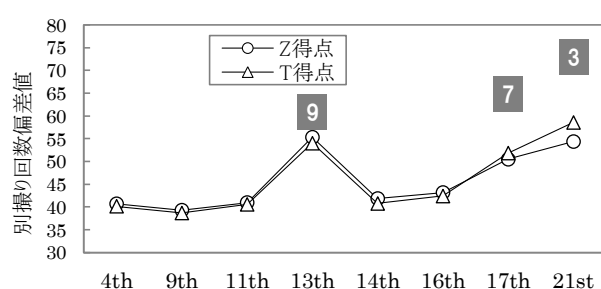


Fig.16 柏木由紀の別撮回数偏差値

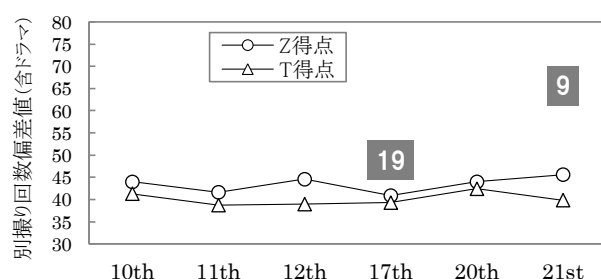


Fig.17 指原莉乃の偏差値(含ドラマ)

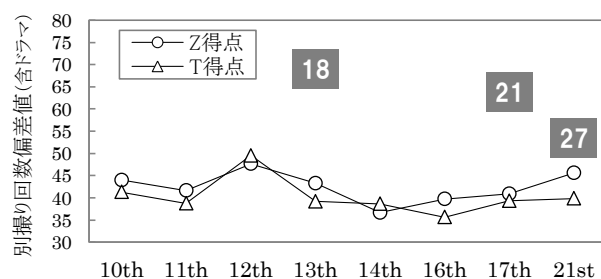


Fig.18 宮崎美穂の偏差値(含ドラマ)

指原莉乃、宮崎美穂、高城亜樹、倉持明日香、北原理英、松井玲奈らの偏差値は、一部のシングルでの例外を除いてほぼ底の値で推移している。先述のように、「LIP」や「ドラマソロ」が選抜メンバーの中でもごく一部のメンバーに集中していることが原因である。このあたりのメンバーになると、「LIP回数」をもとに運営の意図を読み取るのは困難と言える。具体例として、Fig.17 の指原に着目する。近年人気急上昇したメンバーであり、それはグラフ中の選抜総選挙の順位にも表れている。指原はブログが面白いと評判で、バラエティ番組に欠かせない存在となり、人気に火がついた。太田プロダクションへの移籍直後から、太田プロの猛プッシュにより多数のテレビ番組に出演するようになり、人気急上昇した、と言ったほうが正確かもしれない。選抜総選挙の順位が示す通り、人気は急上昇しているのに、偏差値は寒い値である。Table1 をみると、17th 以降、じゃんけん選抜を除く全シングルで選抜されており、運営の期待度は上昇していると考えられる。

指原と対照的なのは、Fig.18 の宮崎である。宮崎も偏差値はほぼ底の値で推移しており、偏差値から運営の期待度を読み取ることは難しい。しかし、指原とは異なり総選挙の順位が下降しており、第3回選抜総選挙ではついに27位と選抜落ちしてしまう。Table1 をみても、指原とは対照的に、近年のシングルでは選抜されなくなっている。これらを踏まえると、運営の期待度は低下していると考えられる。同じような偏差値を示していても、運営の期待度には開きがあるのだ。

4.4 LIP 回数偏差値の偏り

選抜メンバーの中でも特に運営に期待されているメンバーについては、「LIP回数」およびその偏差値によって、運営の期待度の濃淡が分析できた。一方で、そのようなごく一部のメンバーを除けば、偏差値はほぼ同じような底の値を示してしまい、運営の期待度を読み取ることは出来ない。しかし何度も述べるが、選抜率から運営の意図を読み取ろうと考えても選抜率100%のメンバーが10名もいるため、「LIP回数」に着目し、選抜率の高いメンバーの中

で運営の期待度の濃淡を読み取ろうとしたのである。選抜率が高いメンバーについては「LIP 回数」をもとに運営の期待度を読み取り、「LIP 回数」やその偏差値の低いメンバーについては選抜率や選抜回数の推移から運営の期待度を読み取る、というように、対象に合わせて使い分けをすれば良い。

では、どれだけ「LIP」や「ドラマソロ」が一部のメンバーに集中しているのか、非常に気になるところである。4.3 で算出した偏差値の、メンバーごとの算術平均をとった。偏差値の平均値をとるという行為は、統計分析を行う上でナンセンスであるが、どうかご容赦願いたい。Fig.19 が平均値順、Fig.20 が選抜率順である。

Fig.19 の上位は、神 7 と呼ばれる前田、大島優、小嶋、高橋、渡辺、篠田、板野、および SKE48 松井珠である。この 8 名が、ちょうど偏差値約 50 以上であることが分かる。神 7 とは、第 1 回と第 2 回の総選挙で 7 位以内に入ったメンバーである。第 3 回総選挙では柏木由紀が 7 位という厚い壁を破り 3 位に入る快挙を見せたものの、柏木の唯一の例外を除き、依然として神 7 は安定して 8 位以内に君臨し続けて

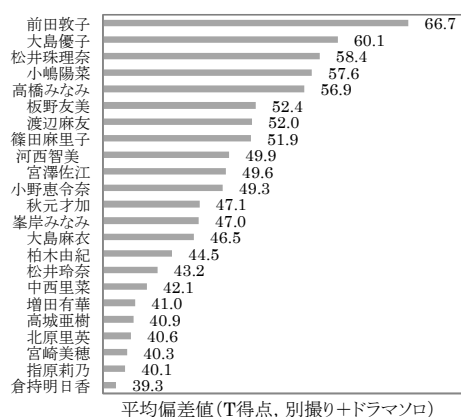


Fig.19 別撮り+ドラマソロT得点の平均値

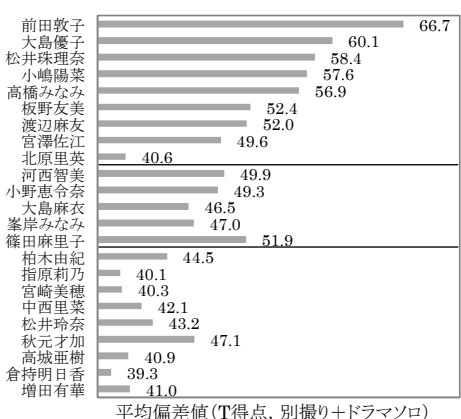


Fig.20 別撮り+ドラマソロT得点平均値(選抜率順)

いる。選抜総選挙がファンの投票によりメンバーの順位を決めるものであり、運営の意思は直接的には入り込まないとはいえ、運営の期待度が高く MV をはじめ様々なメディアに頻繁に露出している神 7 の 7 名が多くファンから票を集めるというのは、当然の結果といえる。

Fig.20 では、1 本目の線より上が選抜率 100%, 2 本目の線より上が選抜率 90%以上である。選抜率が同じ 100%のメンバーであっても、偏差値に開きがあることが分かる。「偏差値」でこれ程の差があるということは、「回数」にすれば相当大きな差になることを示唆している。選抜率だけでは判断できない、運営の意図やメンバーへの期待度が浮き彫りになった。

5. 結論

本研究では、AKB48 のシングル A 面曲、およびその MV の分析を通じて、以下の知見を得た。

- 選抜回数で運営の期待度を判断するのは、卒業生の存在や加入時期の違いにより困難である。
- 選抜率は、人気中位のメンバーに対する運営の期待度の評価には有効である。しかし、人気上位のメンバーについては選抜率に差がなく、選抜率をもとにした評価は困難である。
- MV の LIP やドラマソロの回数、およびそれらの偏差値をもとにすると、選抜率では大差がないメンバーでも、運営の期待度の濃淡が読み取れる。
- MV の LIP 回数の偏差値がマクロに下降しているメンバーについては、偏差値の下降と選抜総選挙の順位の下降に、相関性が認められる。

出典

- (1) AKB48 公式サイト, <http://www.akb48.co.jp/>
- (2) 2010. 『逃した魚たち〜シングルビデオコレクション〜』 Def Star Records
- (3) 2011. 『AKB がいっぱい〜ザ・ベスト・ミュージックビデオ〜』 AKS
- (4) 2011. 『Everyday、カチューシャ』 You, Be Cool!
- (5) 2011. 『フライングゲット』 You, Be Cool!
- (6) 2011. 『風は吹いている』 You, Be Cool!
- (7) 2011. 『上からマリコ』 You, Be Cool!